

# 第9回 群馬県域移動性(モビリティ)・安全性向上検討委員会

平成24年6月29日

国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所  
群馬県 県土整備部

## 目 次

---

---

1. 移動性向上の取り組み状況
2. 今後の渋滞対策の推進
3. 渋滞箇所等の特定方針（抽出指標の検討）
4. 検討スケジュール

## ■ 検討経緯

開催日	移動性向上	安全性向上
第1回 H17.11	移動性阻害箇所の抽出方針	交通安全性向上箇所の抽出の方針
第2回 H18. 3	移動性向上を図るべき箇所の抽出結果	安全性向上を図るべき箇所の抽出結果
第3回 H18. 6	パブリックコメントの結果報告 移動性向上を図るべき箇所の決定(39箇所)	パブリックコメントの結果報告 安全性向上を図るべき箇所の決定(34箇所)
第4回 H19.10	—	安全性向上を図るべき箇所の現況 新たな安全性向上を図るべき箇所の選定
第5回 H19.12	—	パブリックコメントの実施方針
第6回 H20. 9	対策による整備効果の報告	パブリックコメントの結果報告 新たな安全性向上を図るべき箇所の決定(37箇所)
第7回 H22.10	—	新たな安全性向上を図るべき箇所の選定の方針 アンケートの実施方針
第8回 H22.12	—	アンケート結果の報告 新たな安全性向上を図るべき箇所の決定(83箇所)
第9回 H24. 6 (今回)	全国的な渋滞対策の取り組み方針 渋滞箇所等の特定方針(抽出指標の検討)	—

移動性向上を図るべき箇所(H18年度選定) 選定の考え方

移動性の阻害要因

渋滞

走りにくさ

災害による途絶

地形・気象による阻害

+

地域の声

パブリックコメント(アンケート調査等)  
による地域住民の意見

移動性の向上を図るべき箇所

抽出指標

渋滞

- ・群馬県第3次渋滞対策プログラム(平成9年度策定)における渋滞箇所から渋滞長ワースト10より抽出
- ・高規格な道路利用促進に寄与するICの設置が可能な箇所より抽出
- ・主要な国道において、走行速度が20km/h以下が連続する区間より抽出

走りにくさ

- ・国道以上の路線において、未改良区間が500m以上あり、かつ5,000台/12時間以上の区間より抽出

災害による途絶

- ・国道以上の路線において、過去(H12~H16)に災害が発生し、かつ5,000台/12時間以上の箇所より抽出

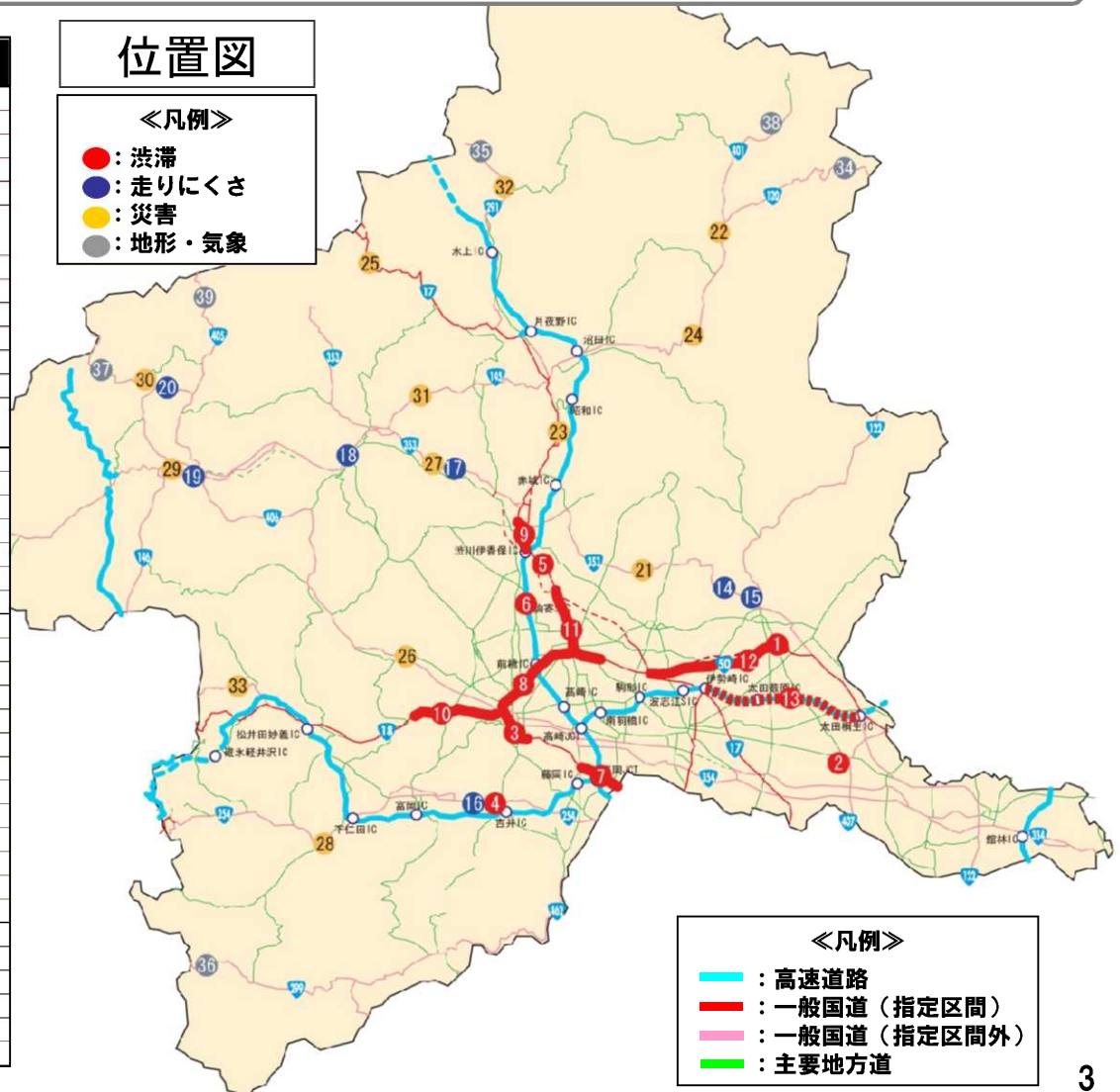
地形・気象による阻害

- ・国道以上の路線において、冬期に通行不能となる区間を抽出

## 移動性向上を図るべき箇所(H18年度選定) 選定箇所・対策状況

- ・渋滞13箇所、走りにくさ7箇所、災害13箇所、地形・気象6箇所の計39箇所を選定
- ・選定箇所において、バイパス整備や災害復旧などの対策事業を推進

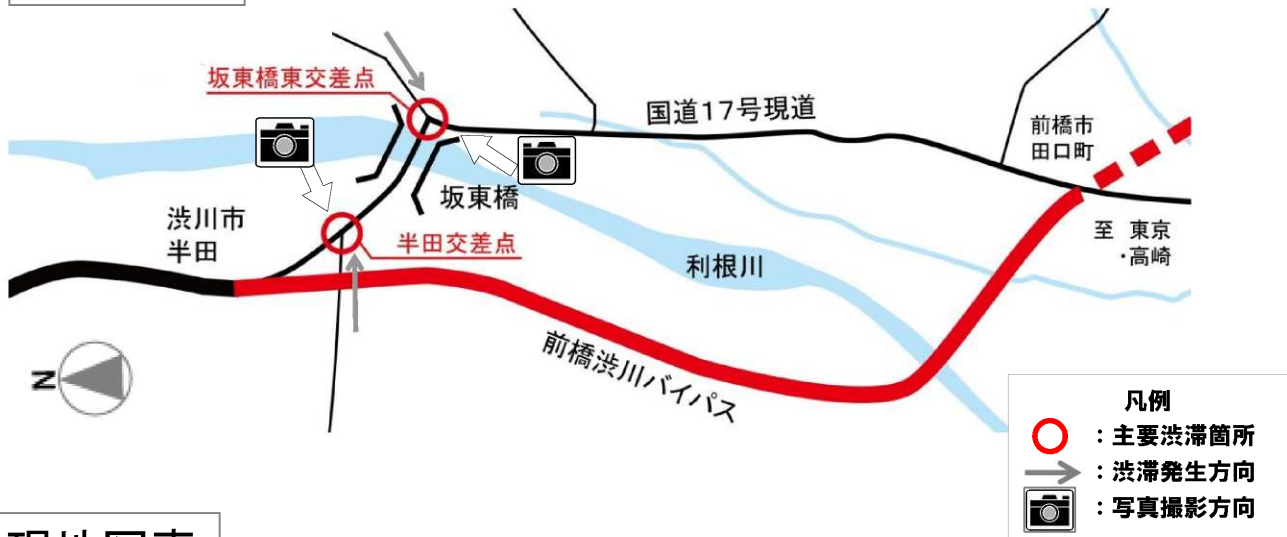
No.	路線名	箇所名	阻害要因	対策状況	主な対策事業
1	国道50号	みどり市鹿	渋滞	対策中	前橋笠懸道路
2	(主)前橋館林線	太田市藤阿久交差点	渋滞	対策中(一部完了)	太田大間々BP
3	国道17号	高崎市高松	渋滞	対策中(一部完了)	高松立体
4	国道254号	高崎市吉井町吉井	渋滞	H26完了予定(一部完了)	甘楽吉井BP
5	国道17号	渋川市半田	渋滞	完了	前橋渋川BP
6	関越自動車道	吉岡町(駒寄PAスマートIC)	渋滞 (高速利用促進)	対策中(一部完了)	駒寄スマートIC
7	国道17号	新町・藤岡エリア	渋滞		
8	国道17号	高崎・前橋エリア	渋滞	対策中(一部完了)	群馬大橋拡幅
9	国道17号	渋川エリア	渋滞	対策中(一部完了)	鯉沢BP、渋川西BP
10	国道18号	安中エリア	渋滞	対策中(一部完了)	高崎安中拡幅
11	国道50号	前橋エリア	渋滞	対策中(一部完了)	上武道路
12	国道50号	伊勢崎・笠懸エリア	渋滞	対策中	前橋笠懸道路
13	北関東自動車道	数塚IC~太田ICエリア	渋滞 (高速利用促進)	完了	太田数塚IC
14	国道353号	桐生市新里	走りにくさ	完了	道路改築
15	国道353号	みどり市大間々	走りにくさ		
16	国道254号	高崎市吉井町吉井	走りにくさ	H25完了予定(一部完了)	川内交差点改良
17	国道353号	渋川市村上	走りにくさ	対策中	上信 祖母島箱島BP
18	国道145号	東吾妻町吾妻	走りにくさ		
19	国道145号	長野原町長野原	走りにくさ	完了	ハツ場BP
20	国道292号	草津町草津	走りにくさ		
21	国道353号	前橋市滝窪	災害	完了	災害復旧対策
22	国道120号	沼田市大原	災害	完了	災害復旧対策
23	国道17号	渋川市上白井~沼田市岩本町	災害	完了	災害復旧対策
24	国道120号	片品村須賀川	災害	完了	災害復旧対策
25	国道17号	みなかみ町永井	災害	完了	災害復旧対策
26	国道406号	高崎市中室田	災害	完了	災害復旧対策
27	国道353号	渋川市村上	災害	完了	災害復旧対策
28	国道254号	下仁田町下仁田	災害	完了	災害復旧対策
29	国道145号	長野原町長野原	災害	完了	災害復旧対策
30	国道292号	草津町草津	災害	完了	災害復旧対策
31	国道145号	高山村尻高	災害	完了	災害復旧対策
32	国道291号	みなかみ町大穴	災害	完了	災害復旧対策
33	国道18号	安中市坂本	災害	完了	災害復旧対策
34	国道120号	片品村東小川	地形・気象		
35	国道291号	みなかみ町湯檜曾	地形・気象		
36	国道299号	上野村檜原	地形・気象		
37	国道292号	草津町天狗山	地形・気象		
38	国道401号	片品村戸倉	地形・気象		
39	国道405号	中之条町入山	地形・気象		



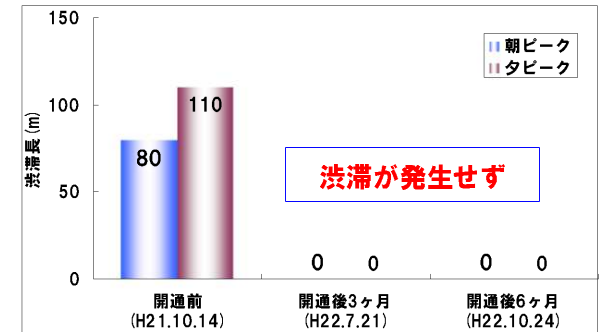
■ 対策事例① 〈渋滞〉 No.5 国道17号渋川市半田

・国道17号前橋渋川バイパスの整備(H22.3)により、坂東橋東交差点の渋滞(最大渋滞長110m) および半田交差点の渋滞(最大渋滞長120m)が解消

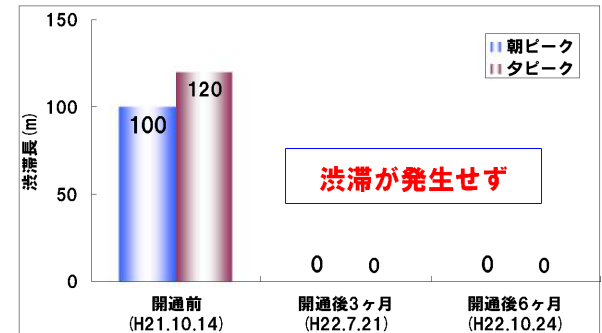
位置図



渋滞長(国道17号半田交差点)



渋滞長(国道17号坂東橋東交差点)



現地写真

坂東橋東交差点



開通前 (H21.10.14撮影)



開通後 (H22.10.29撮影)

半田交差点



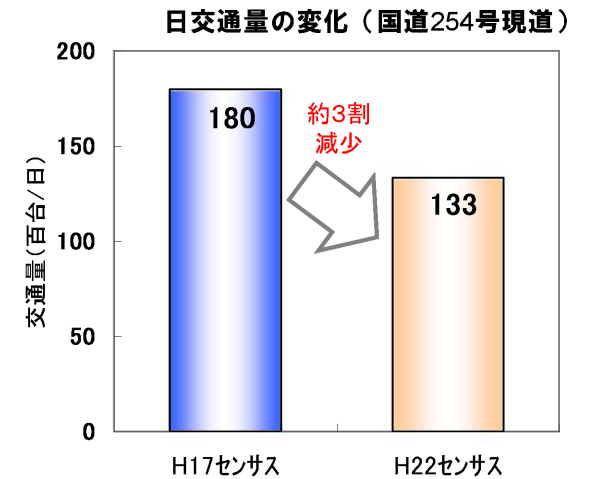
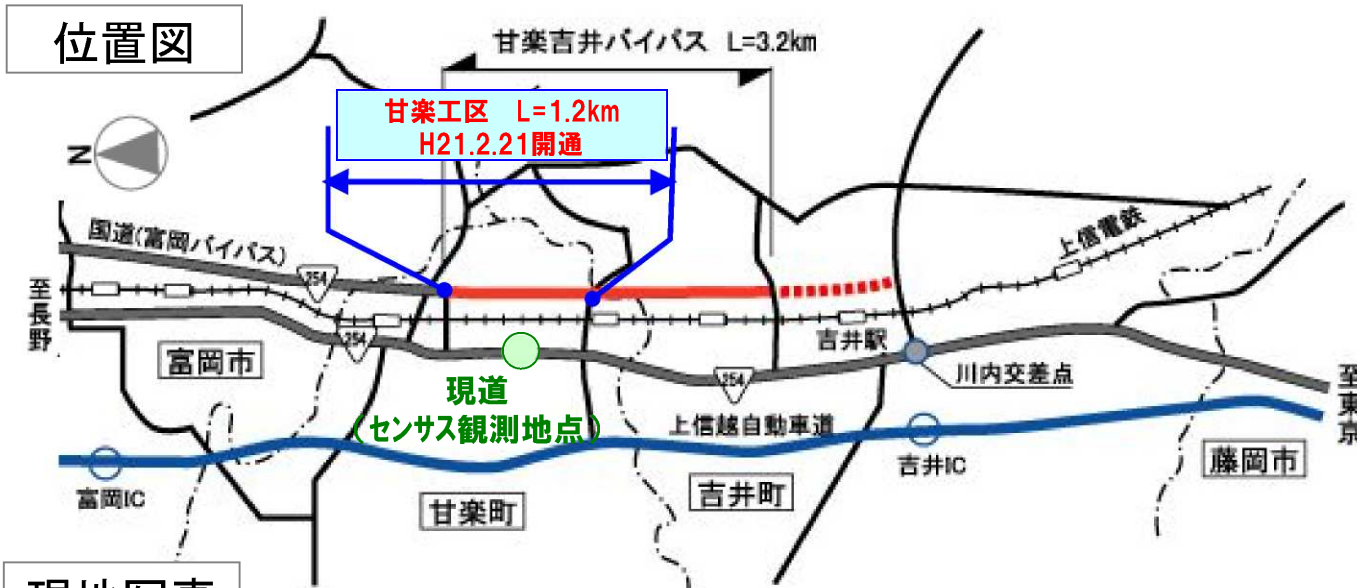
開通前 (H21.10.14撮影)



開通後 (H22.10.29撮影)

■ 対策事例② 〈渋滞・走りにくさ〉 No.4,16 国道254号高崎市吉井町吉井

・国道254号甘楽吉井バイパス(甘楽工区)の整備(H21.2)により、甘楽町と吉井町の国道254号の  
現道交通量が約3割減少、旅行速度も約10km/h向上



**現地写真**

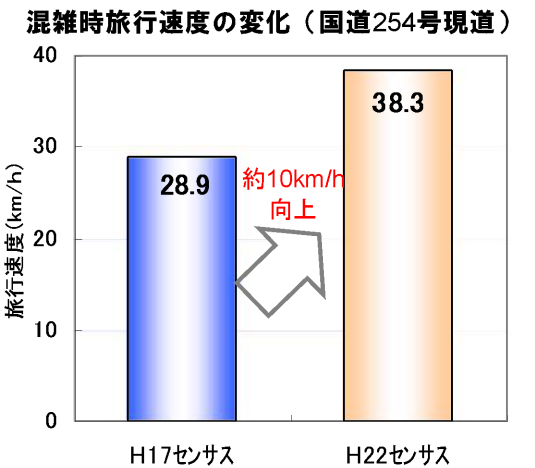
国道254号現道



開通前 (H22. 2撮影)



開通後 (H24. 6撮影)



■対策事例③ 〈災害〉 No.27 国道353号渋川市村上

- ・国道353号では、平成14年・平成15年に大規模な斜面崩落が発生
- ・災害発生後、仮設道路の設置や法面对策を実施し、災害復旧対策が完了

位置図



事業の内容

■ 工事延長	62.5m
■ 吹付法砕工	2,101.5m <sup>2</sup>
■ 砕内吹付	1,389.0m <sup>2</sup>
■ ロックボルト工	208本
■ コンクリート吹付工	969.3m <sup>2</sup>
■ ロックネット工	815.4m <sup>2</sup>

現地写真



災害発生時 (H15.9撮影)



災害復旧対策後 (H19.8撮影)



## ■今後の渋滞対策の推進について(国土交通省)

### 高速道路のあり方検討有識者委員会(国土交通省)

「今後の高速道路のあり方 中間とりまとめ(H23/12)」において、効率性を阻害する渋滞ボトルネック対策の重要性を指摘

(抜粋)

テレビやラジオなどメディアでも「渋滞の名所」とされるようなボトルネック箇所(例:中央道小仏トンネルなど)への集中的対策が必要

### 社会資本整備審議会 道路分科会

道路分科会建議 中間とりまとめ(H24/6) (抜粋)

- ・「渋滞の名所」と呼ばれるボトルネック箇所への集中的対策を実施
- ・プローブ情報や車載カメラ情報などを収集し、道路のマネジメントや管理への活用により道路行政を効率化

### 交通観測技術の発展・普及

交通状況の詳細に係るデータが容易に取得可能となるなど、観測環境が大きく改善

全国的に効果的な渋滞対策を推進

## ■ 今後の渋滞対策の推進について(国土交通省)

### 検討の体制等

#### 3大都市圏

(首都圏・中京圏・京阪神圏)

※渋滞の面的な連担が顕著な3大都市圏では  
圏域単位で検討の場を設置

#### 3大都市圏以外の地域

##### 【圏域単位】

- 首都圏 渋滞ボトルネック対策協議会
- 中京圏 渋滞ボトルネック対策協議会
- 京阪神圏 渋滞ボトルネック対策協議会

- ・ 地方整備局 ・ 地方運輸局
- ・ 公安委員会
- ・ 地方公共団体 (県・政令市)
- ・ 高速道路会社  
(NEXCO・首都高速・阪神高速・  
本四高速・指定都市高速 等) 等※

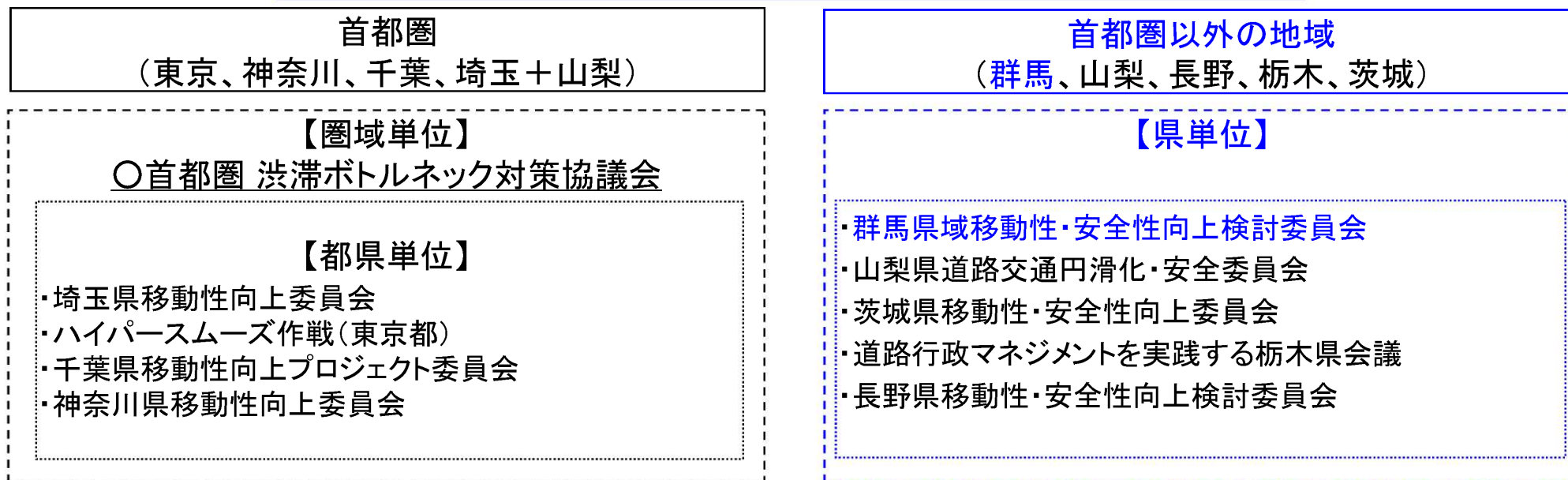
##### 【県単位】

#### ○渋滞対策協議会

- ・ 地方整備局 ・ 地方運輸局
- ・ 公安委員会
- ・ 地方公共団体 (県・政令市)
- ・ 高速道路会社  
(NEXCO・首都高速・阪神高速・  
本四高速・指定都市高速 等) 等※

## ■ 今後の渋滞対策の推進について(国土交通省)

### 関東地方における検討体制等



#### <対象>

- ・都道府県道、直轄国道に加え、高速道路を含めたネットワークを対象

#### <課題箇所の特定方法(ボトルネック箇所)>

- ・課題の大きな箇所、地域の実感(観光渋滞、GW、朝夕渋滞等)と整合した箇所を選定
- ・各都県毎の移動性向上委員会にて道路利用者の意見収集・反映

## 検討の流れ

交通基礎データの共有、意見交換等

今回

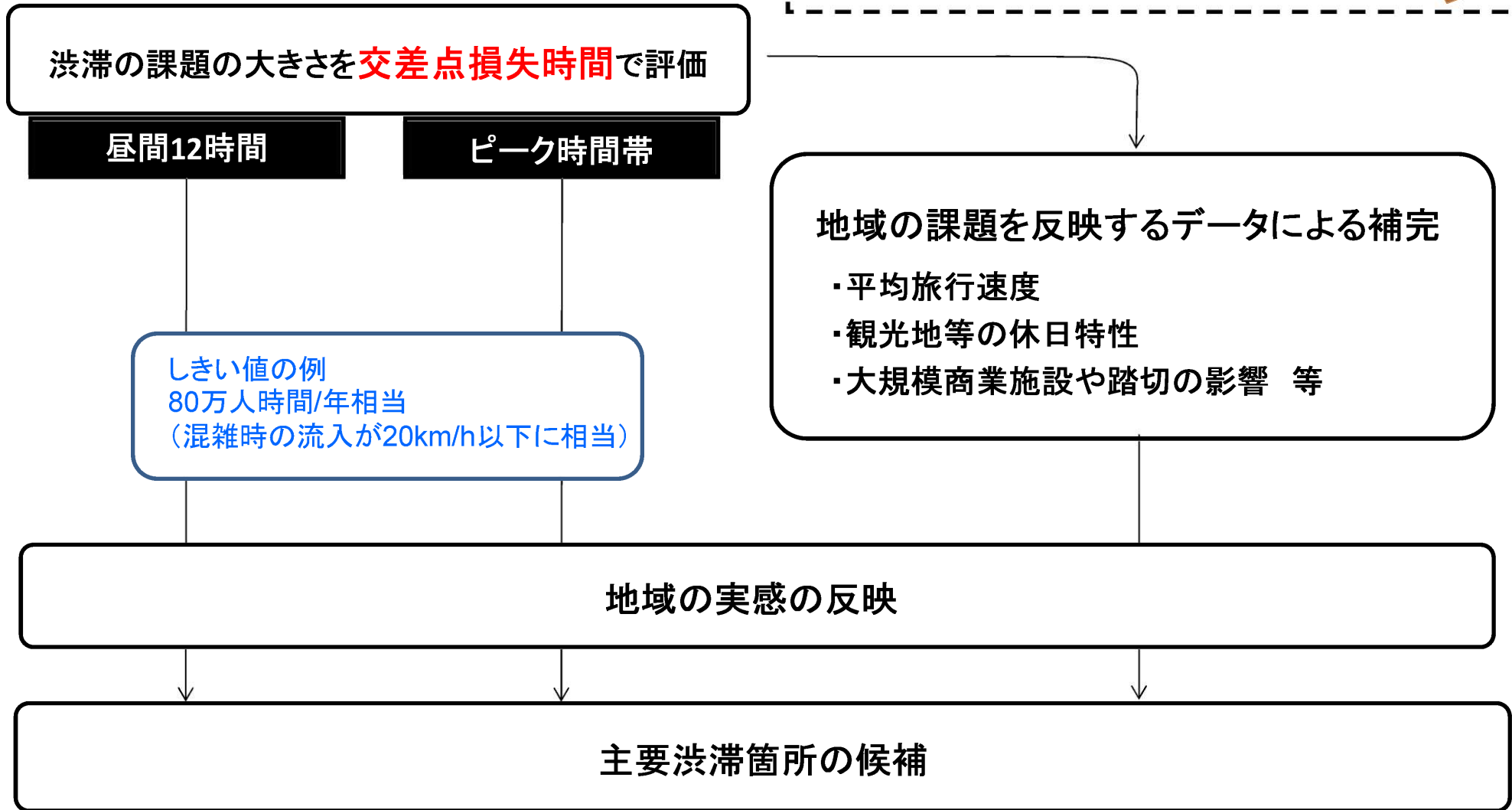
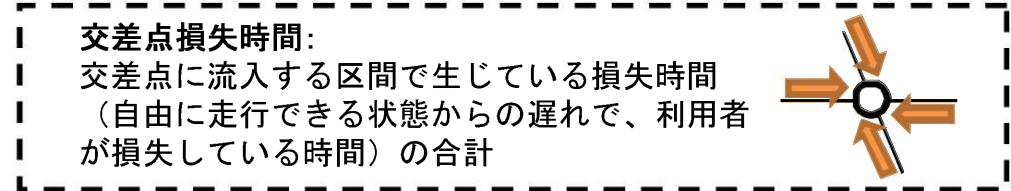
地域の渋滞箇所 素案の決定

パブリックコメント等を含めた地域の渋滞箇所の特定

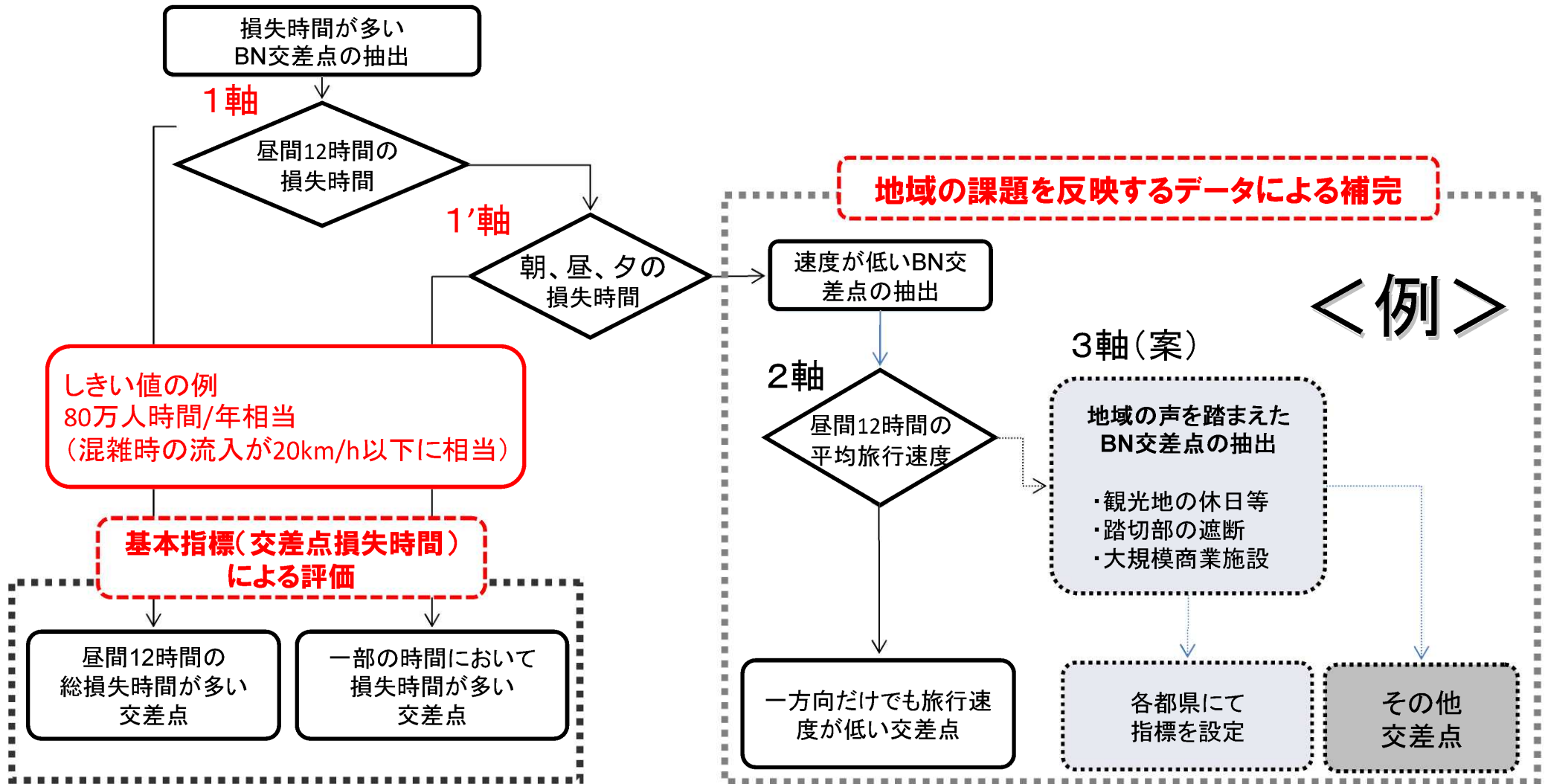
ソフト・ハードを含めた対策の検討

検討委員会における検討結果のとりまとめ

一般道の課題箇所特定の考え方(案)



交通データを活用した渋滞ポイントの抽出フロー(案)



BN: ボトルネック

■群馬県における指標設定 3軸の設定方針(案)

移動性向上(従前)の抽出指標

渋滞

- ・群馬県第3次渋滞対策プログラム(平成9年度策定)における渋滞箇所から渋滞長ワースト10より抽出
- ・主要な国道において、走行速度が20km/h以下が連続する区間より抽出
- ・高規格な道路利用促進に寄与するICの設置が可能な箇所より抽出

走りにくさ

- ・国道以上の路線において、未改良区間が500m以上あり、かつ5,000台/12時間以上の区間より抽出

災害による途絶

- ・国道以上の路線において、過去(H12~H16)に災害が発生し、かつ5,000台/12時間以上の箇所より抽出

地形・気象による障害

- ・国道以上の路線において、冬期に通行不能となる区間を抽出

今後の渋滞対策推進に用いる指標

全国・関東統一指標により評価

継続

継続

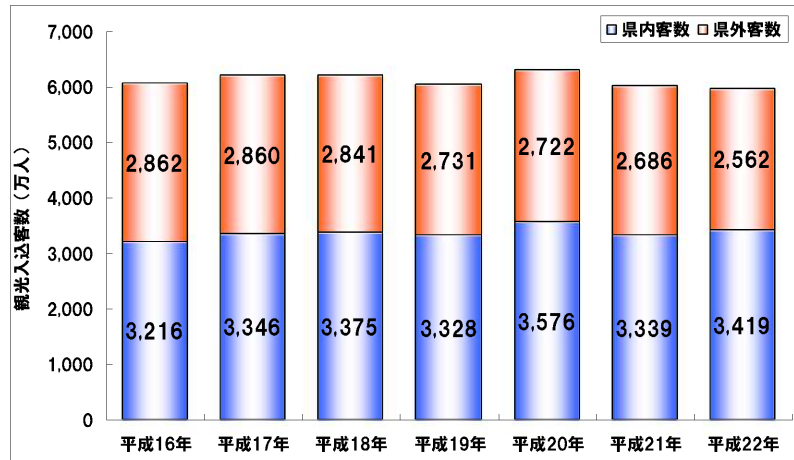
災害実績をもとに見直し→継続

継続

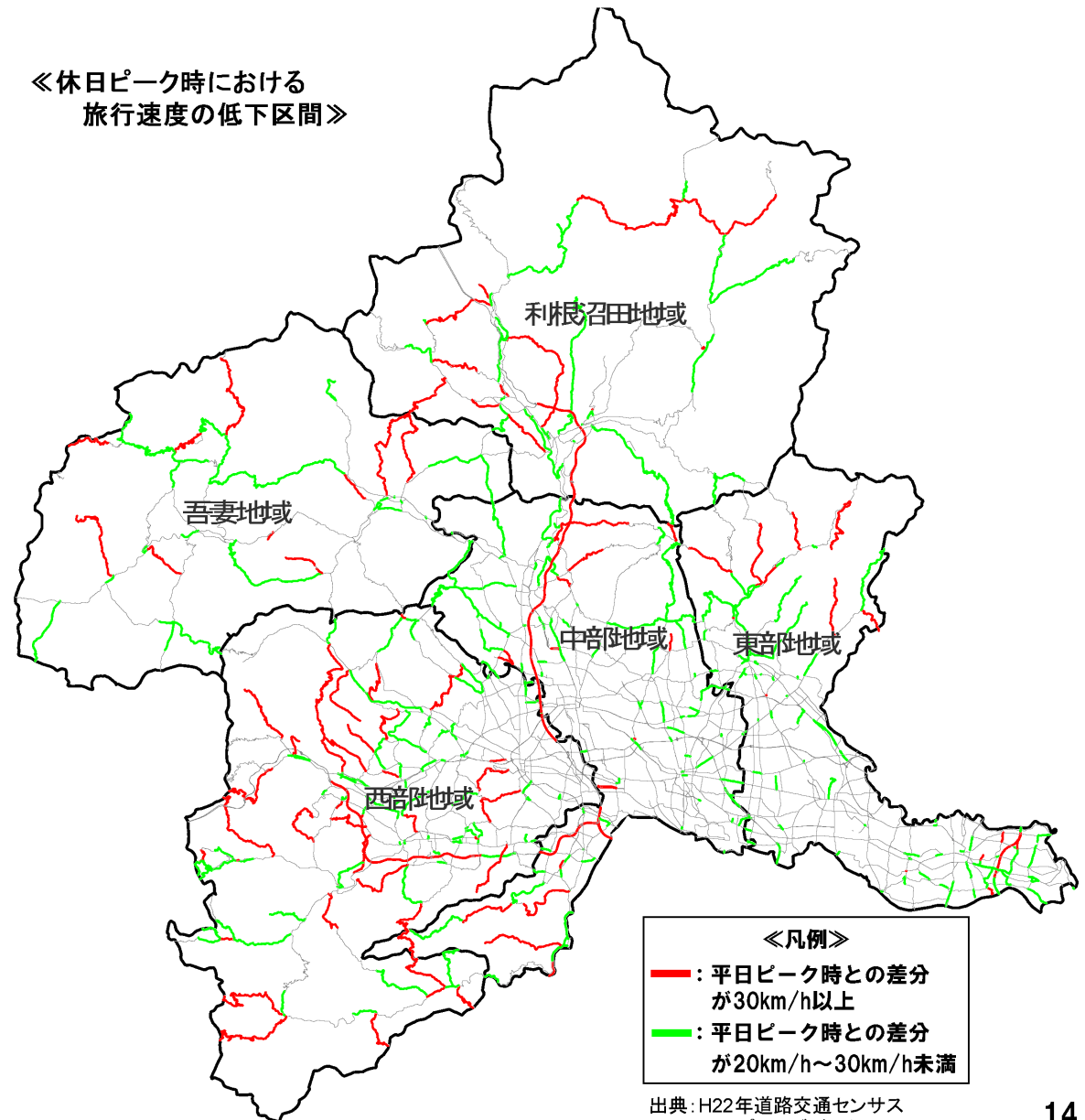
群馬県の地域特性を踏まえ  
新たな地域指標を検討  
ex:観光期の渋滞に関する指標等

## ＜観光期の渋滞＞ 休日の平均速度が低い箇所

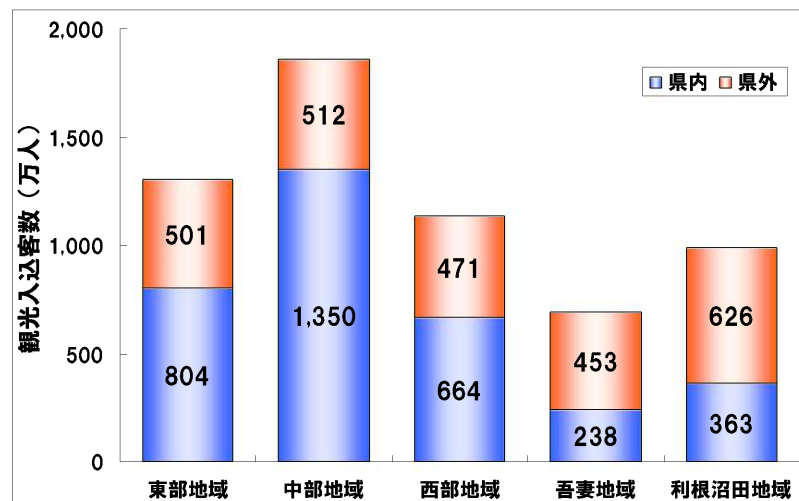
群馬県の観光入込客数の推移(H16～H22年度)



＜休日ピーク時における  
旅行速度の低下区間＞



地域別の観光入込客数(H22年度)



出典：平成22年度観光客数・消費額調査(推計)結果(群馬県)

出典：H22年道路交通センサス  
民間プローブデータ(H21.4～H22.3)



## 検討の流れ

